

# 地域と連携した然別自然休養林の保全活動

十勝西部森林管理署東大雪支署 森林整備官 千葉 有子 首席森林官 鈴木 智江  
一般職員 齋藤 諒介

## 取組の背景・目的

然別自然休養林は、然別湖を中心とする小湖群とそれを取り巻く山岳で構成されており、白雲山、天望山など気軽に登山などができる場として多くの人を訪れます。湖畔には温泉ホテル、ネイチャーセンター、野営場等があり、滞在型のレクリエーションの森として四季を通じて利用されており、年間、約45万人が観光などに訪れます。これまで、然別自然休養林保護管理協議会と連携して行ってきた国民の森林としての保全活動の取組を報告します。

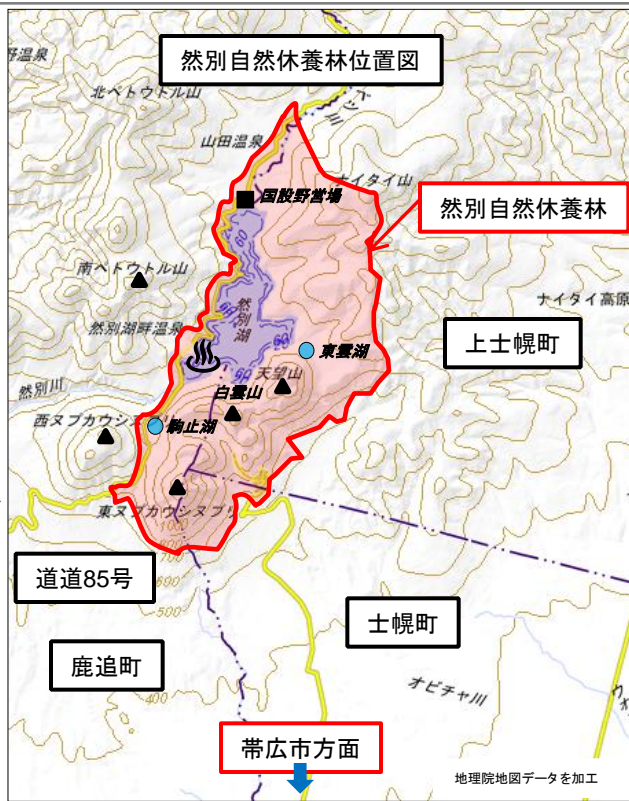
## 取組の内容・成果

然別自然休養林は、平成17年度に林野庁長官通知に基づき、「レクリエーションの森リフレッシュ事業重点実施地区」に指定されました。平成18年度には、関係機関と協議し、同休養林のリフレッシュ方針を策定し、平成19年度以降は、この方針に基づき、保全整備活動を実施してきました。

活動の内容としては、①歩道の案内標識、山頂標識設置、②歩道の笹刈り、倒木処理、③然別峡野営場再生植樹祭の開催、④歩道の保全やルールに関する協議などがあります。

平成27年度は、これまで協議会メンバーで行ってきた保全整備活動をPRするとともに、地域住民と連携した取組となるよう、一般の方々にボランティア参加を呼びかけ、歩道の草刈り及び倒木処理を実施し、観光などに訪れる人の安全を確保してきました。

また、同年10月に発生した台風23号により歩道に多数の風倒木が発生しました。この対応について、協議会が中心となり、情報共有のための担当者会議、歩道の現地調査、復旧方法の検討が迅速に行われ、利用者の安全を第一に考え、入林規制措置、注意標識設置等の対応を取りました。入林規制については、局HP及び協議会構成メンバーHPに掲載した他、マスコミへの情報提供により新聞に掲載されました。



## 今後の展開

然別自然休養林に対する地元からのニーズ把握に努めるとともに、協議会構成メンバーだけでなく地域住民とも連携した保全活動となるよう取組を推進します。また、現在作成中のHPを活用した利用者への情報提供や、マスコミへの積極的な情報発信に取り組み、国民の森林としての自然休養林をPRしていきたいと考えています。今後も良好な森林環境が維持されるよう、関係機関との連携を図り国民目線に立った保全整備活動に取り組んでいきます。

